

表 14-3-2

F2 年齢	1 同性愛については、受け入れたと思う	2 性別不合については、受け入れたいと思う	3 家族から同性愛者とカミングアウトされたら受け入れられない・逆	4 同性のカップルが近所に住むのは気にならない	5 同性婚を認めてもいいと思う	6 トランスジェンダーの人も困らないようにトイレの施設整備や配慮をしていくのが望ましい	7 家族から性別不合とカミングアウトされたら受け入れられない・逆	8 職場に同性愛者の同僚・上司がいても問題ないと思う	9 三田市の同性パートナーシップ宣誓制度は、賛成（理解できる）である
10歳代	3.5	3.5	3.2	3.0	3.6	3.4	3.1	3.6	3.6
20歳代	3.5	3.5	3.3	3.0	3.6	3.4	3.2	3.6	3.6
30歳代	3.3	3.4	3.1	3.0	3.4	3.2	3.0	3.5	3.5
40歳代	3.2	3.4	2.9	2.9	3.4	3.3	3.0	3.4	3.4
50歳代	2.8	3.1	2.7	2.9	3.0	3.1	2.9	3.2	3.2
60歳代	2.8	3.1	2.7	2.9	3.0	3.1	2.8	3.1	3.2
70歳代以上	2.3	2.6	2.4	2.7	2.5	3.0	2.4	2.8	2.8
合計	3.0	3.2	2.9	2.9	3.2	3.2	2.9	3.3	3.3

表 14-3-1 と表 14-3-2 より、総じて、年齢の低いほど「性的指向・性別不合」に関する人権を尊重する意識が高い傾向が見られます。

性的指向・性別不合の人びとに関する人権意識については、年齢の低いほど人権意識は高いと解釈されます。

表 14-4-1 は、職業と「性的指向・性別不合」に関する人権についての考え方との関連をみたものです。

すべての項目において職業との間に関連のあることがわかります。

表 14-4-2 は、表 14-4-1 で統計的有意差の認められた 9 項目について平均値を求めたものです。

表 14-4-1

		合計	そう 思う	言 え ば そ う と 思 う	ど ち ら か と 思 わ な い	言 え ば そ う と 思 わ な い	そ う は 思 わ な い	統 計 的 検 定
1 同性愛については、受け入れたいと思う	自営業	71	29.6%	36.6%	16.9%	16.9%	p<.001 ***	
	自由業	14	50.0%	35.7%	14.3%	0.0%		
	公務員・教員	60	38.3%	45.0%	10.0%	6.7%		
	経営者・役員	35	31.4%	28.6%	34.3%	5.7%		
	正規職員	321	33.6%	41.4%	16.8%	8.1%		
	非正規職員	282	31.2%	48.2%	15.2%	5.3%		
	学生	165	64.8%	29.7%	4.2%	1.2%		
	無職	418	21.3%	43.8%	19.6%	15.3%		
合計	1366	33.2%	41.7%	16.0%	9.2%			
2 性別不合については、受け入れたいと思う	自営業	71	31.0%	47.9%	14.1%	7.0%	p<.001 ***	
	自由業	14	50.0%	35.7%	14.3%	0.0%		
	公務員・教員	61	45.9%	49.2%	3.3%	1.6%		
	経営者・役員	35	42.9%	37.1%	17.1%	2.9%		
	正規職員	321	39.3%	48.0%	7.5%	5.3%		
	非正規職員	282	38.3%	50.7%	9.2%	1.8%		
	学生	165	64.2%	32.1%	3.0%	0.6%		
	無職	413	25.4%	52.3%	13.8%	8.5%		
合計	1362	38.0%	47.6%	9.7%	4.8%			
3 家族から同性愛者とカミングアウトされたら受け入れられない	自営業	71	12.7%	32.4%	32.4%	22.5%	p<.001 ***	
	自由業	14	0.0%	14.3%	42.9%	42.9%		
	公務員・教員	61	1.6%	23.0%	39.3%	36.1%		
	経営者・役員	34	5.9%	47.1%	35.3%	11.8%		
	正規職員	321	8.4%	24.0%	41.1%	26.5%		
	非正規職員	277	6.9%	24.5%	43.0%	25.6%		
	学生	165	5.5%	11.5%	32.7%	50.3%		
	無職	409	11.7%	26.2%	43.8%	18.3%		
合計	1352	8.5%	24.1%	40.6%	26.8%			
4 同性のカップルが近所に住むのは気にならない	自営業	69	34.8%	30.4%	15.9%	18.8%	p<.001 ***	
	自由業	14	57.1%	21.4%	7.1%	14.3%		
	公務員・教員	61	31.1%	34.4%	9.8%	24.6%		
	経営者・役員	35	37.1%	37.1%	11.4%	14.3%		
	正規職員	320	39.1%	26.9%	18.8%	15.3%		
	非正規職員	280	31.8%	36.1%	22.5%	9.6%		
	学生	165	55.8%	13.9%	10.3%	20.0%		
	無職	418	29.4%	35.4%	23.0%	12.2%		
合計	1362	36.2%	30.5%	18.9%	14.3%			
5 同性婚を認めても良いと思う	自営業	71	38.0%	35.2%	16.9%	9.9%	p<.001 ***	
	自由業	14	64.3%	14.3%	14.3%	7.1%		
	公務員・教員	60	43.3%	38.3%	13.3%	5.0%		
	経営者・役員	35	42.9%	28.6%	22.9%	5.7%		
	正規職員	321	48.0%	35.2%	9.0%	7.8%		
	非正規職員	279	40.1%	43.7%	10.8%	5.4%		
	学生	163	76.1%	19.0%	4.3%	0.6%		
	無職	411	29.7%	39.4%	18.5%	12.4%		
合計	1354	43.5%	36.0%	12.7%	7.8%			

つづき

		合計	そう 思う	言 え ば そ う と 思 わ な い	言 え ば そ う と 思 わ な い	そ う は 思 わ な い	統 計 的 検 定
6 トランスジェンダーの人も困らないように トイレの施設整備や配慮をしていくのが望ま しい	自営業	70	31.4%	51.4%	11.4%	5.7%	p<.001 ***
	自由業	14	35.7%	42.9%	21.4%	0.0%	
	公務員・教員	61	41.0%	49.2%	3.3%	6.6%	
	経営者・役員	35	37.1%	48.6%	11.4%	2.9%	
	正規職員	321	37.1%	45.2%	11.8%	5.9%	
	非正規職員	280	41.8%	45.7%	8.9%	3.6%	
	学生	165	61.2%	30.9%	6.7%	1.2%	
	無職	410	32.4%	49.8%	12.7%	5.1%	
合計	1356	39.5%	45.5%	10.5%	4.5%		
7 家族から性別不適合とカミングアウト されたら受け入れられない	自営業	70	15.7%	27.1%	35.7%	21.4%	p<.001 ***
	自由業	14	0.0%	21.4%	28.6%	50.0%	
	公務員・教員	61	1.6%	23.0%	37.7%	37.7%	
	経営者・役員	35	5.7%	37.1%	34.3%	22.9%	
	正規職員	318	8.8%	21.1%	40.3%	29.9%	
	非正規職員	279	5.0%	25.1%	42.7%	27.2%	
	学生	165	7.9%	10.3%	29.7%	52.1%	
	無職	406	10.8%	29.1%	39.7%	20.4%	
合計	1348	8.4%	23.8%	38.6%	29.2%		
8 職場に同性愛者の同僚・上司がいても 問題ないと思う	自営業	70	40.0%	45.7%	8.6%	5.7%	p<.001 ***
	自由業	14	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	
	公務員・教員	61	55.7%	34.4%	9.8%	0.0%	
	経営者・役員	35	42.9%	37.1%	17.1%	2.9%	
	正規職員	320	48.4%	36.9%	10.6%	4.1%	
	非正規職員	282	45.4%	41.8%	9.9%	2.8%	
	学生	165	73.9%	21.2%	4.8%	0.0%	
	無職	414	34.1%	43.5%	15.7%	6.8%	
合計	1361	46.6%	38.2%	11.2%	4.0%		
9 三田市の同性パートナーシップ宣誓 制度は、賛成（理解できる）である	自営業	69	34.8%	49.3%	8.7%	7.2%	p<.001 ***
	自由業	14	64.3%	7.1%	21.4%	7.1%	
	公務員・教員	61	57.4%	37.7%	3.3%	1.6%	
	経営者・役員	35	42.9%	42.9%	11.4%	2.9%	
	正規職員	319	51.7%	38.9%	4.1%	5.3%	
	非正規職員	279	47.3%	41.6%	7.2%	3.9%	
	学生	165	72.7%	23.0%	4.2%	0.0%	
	無職	407	37.1%	42.8%	11.3%	8.8%	
合計	1349	48.3%	38.9%	7.5%	5.3%		

表 14-4-2

F3 職業	1 同性愛については、受け入れたいと思う	2 性別不合については、受け入れたいと思う	3 家族から同性愛者とカミングアウトされたら受け入れられない・逆	4 同性のカップルが近所に住むのは気にならない	5 同性婚を認めても良いと思う	6 トランスジェンダーの人も困らないようにトイレの施設整備や配慮をしていくのが望ましい	7 家族から性別不合とカミングアウトされたら受け入れられない・逆	8 職場に同性愛者の同僚・上司がいても問題ないと思う	9 三田市の同性パートナーシップ宣誓制度は、賛成(理解できる)である
自営業	2.8	3.0	2.7	2.8	3.0	3.1	2.6	3.2	3.1
自由業	3.4	3.4	3.3	3.2	3.4	3.1	3.3	3.8	3.3
公務員・教員	3.2	3.4	3.1	2.7	3.2	3.3	3.1	3.5	3.5
経営者・役員	2.9	3.2	2.5	3.0	3.1	3.2	2.7	3.2	3.3
正規職員	3.0	3.2	2.9	2.9	3.2	3.1	2.9	3.3	3.4
非正規職員	3.1	3.3	2.9	2.9	3.2	3.3	2.9	3.3	3.3
学生	3.6	3.6	3.3	3.1	3.7	3.5	3.3	3.7	3.7
無職	2.7	3.0	2.7	2.8	2.9	3.1	2.7	3.1	3.1
合計	3.0	3.2	2.9	2.9	3.2	3.2	2.9	3.3	3.3

表 14-4-1 と表 14-4-2 より、以下のような解釈が可能です。

「1 同性愛については、受け入れたいと思う」、「4 同性のカップルが近所に住むのは気にならない」、「5 同性婚を認めても良いと思う」、「8 職場に同性愛者の同僚・上司がいても問題ないと思う」では、学生と自由業の平均値が他の職種よりも高くなっています。

「9 三田市の同性パートナーシップ宣誓制度は、賛成である」では、学生の平均値が高く、次いで、公務員・教員となっています。「2 性別不合については、受け入れたいと思う」では、学生、自由業、公務員・教員の平均値が高く、自営業、無職において平均値が低くなっています。他方、「3 家族から同性愛者とカミングアウトされたら受け入れられない・逆」、「7 家族から性別不合とカミングアウトされたら受け入れられない・逆」では、自営業、経営者・役員、無職において他の職種よりも平均値が低いことがわかります。

「性的指向・性別不合」に関する人権について、学生の人権意識が高いと解釈されます。

なお、地区別の関連も検討しましたが、すべての項目において統計的に有意な関連が認められませんでした。

問15 次の「犯罪被害者の方やその家族に関する人権」に関することがらについて、あなたのお考えを教えてください。（それぞれ一つに○をつけてください）

問15は、「犯罪被害者の方やその家族に関する人権」についての考え方を問うものです。

「2 犯罪被害者の方やその家族のことを好奇心目でみてしまうのは好ましくない」、「3 犯罪被害者の方やその家族への過剰な取材や報道は制限すべきだ」では、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と合わせた YES との回答が、犯罪被害者の方やその家族に関する人権を尊重することを意味しています。「1 犯罪被害者に対する公的な（経済的）補償は十分だと思う」、「4 犯罪被害者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う」では、人権尊重に関わるのかどうか、判断は難しいと考えます。

表 15-1 によると、「2 犯罪被害者の方やその家族のことを好奇心目でみてしまうのは好ましくない」と「3 犯罪被害者の方やその家族への過剰な取材や報道は制限すべきだ」において、YES の比率が 90%を超えています。また、「1 犯罪被害者に対する公的な（経済的）補償は十分だと思う」では NO が 72.3%と高く、「4 犯罪被害者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う」では YES が 69.1%と高い数値になっています。

表 15-1 の右端の数値は、各項目の平均値を求めたものです。各項目の平均値を求めるにあたって、次のように点数化を行います。

「1 犯罪被害者に対する公的な（経済的）補償は十分だと思う」については、「そう思う」1, 「どちらかと言えばそう思う」2, 「どちらかと言えばそうは思わない」3, 「そうは思わない」4 とします。末尾に（逆）を付します。「2 犯罪被害者の方やその家族のことを好奇心目でみてしまうのは好ましくない」、「3 犯罪被害者の方やその家族への過剰な取材や報道は制限すべきだ」、「4 犯罪被害者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う」については、「そう思う」4, 「どちらかと言えばそう思う」3, 「どちらかと言えばそうは思わない」2, 「そうは思わない」1 とします。

表 15-1

	合計	そう思う	どちらかと思う	どちらでもない	そうは思わない	無回答	平均値
1 犯罪被害者に対する公的な（経済的）補償は十分だと思う・逆	1420	4.7%	18.5%	45.8%	26.5%	4.4%	3.0
2 犯罪被害者の方やその家族のことを好奇心でみてしまうのは好ましくない	1420	59.6%	32.7%	3.2%	2.4%	2.0%	3.5
3 犯罪被害者の方やその家族への過剰な取材や報道は制限すべきだ	1420	76.5%	18.6%	1.8%	1.3%	1.8%	3.7
4 犯罪被害者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う	1420	29.2%	39.9%	18.8%	7.9%	4.2%	2.9

表 15-2-1 は、性別との関連をみたものです。「1 犯罪被害者に対する公的な（経済的）補償は十分だと思う・逆」、「4 犯罪被害者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う」の 2 項目において関連が見られました。

表 15-2-2 は、表 15-2-1 において、統計的有意差が認められた項目について平均値を求めたものです。

表 15-2-1

		合計	そう思う	どちらかと思う	どちらでもない	そうは思わない	統計的検定
1 犯罪被害者に対する公的な（経済的）補償は十分だと思う	男性	616	5.4%	15.9%	47.9%	30.8%	p=.011 *
	女性	718	4.7%	22.6%	47.9%	24.8%	
	性別未選択者	11	0.0%	9.1%	36.4%	54.5%	
	合計	1345	5.0%	19.4%	47.8%	27.8%	
4 犯罪被害者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う	男性	614	35.0%	39.4%	16.3%	9.3%	p=.001 **
	女性	723	26.6%	43.4%	22.5%	7.5%	
	性別未選択者	11	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	
	合計	1348	30.5%	41.8%	19.5%	8.2%	

表 15-2-2

F1 性別	1 犯罪被害者に対する公的な（経済的）補償は十分だと思う・逆	4 犯罪被害者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う
男性	3.0	3.0
女性	2.9	2.9
性別未選択者	3.5	3.4
合計	3.0	3.0

表 15-2-1 と表 15-2-2 より、次のような解釈が可能です。

「1 犯罪被害者に対する公的な（経済的）補償は十分だと思う・逆」、「4 犯罪被害者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う」では、性別未選択者が男性と女性よりも平均値が高くなっています。

これら 2 項目のみの結果からは、性別と犯罪被害者の方やその家族に関する人権との間に関連があると言えるかどうかについて結論づけることはできません。

年齢との関連をみたところ、表 15-3-1 の 1 項目のみ関連がみられました。

表 15-3-2 は、表 15-3-1 で統計的有意差が認められた項目について平均値を求めたものです。